

るような計画づくりとされたい。
 ②妊婦の日常の活動を支援するために、マタニティマークの活用を積極的に進められたい。
 ③甌島地域には産婦人科がないことから、妊婦に安心感を与えるためにも、助産師の定期的な派遣も検討されたい。

三月十六日・十九日開催

(一)平成十九年度薩摩川内市一般会計予算のうち本委員会付託分について

①市民の多重債務相談については、今後も適切なサービスに努められたい。

②国民健康保険税や介護保険料を改定する際には、一般会計で財政負担している状況などについて、市民の理解が得られるような啓発策等を検討されたい。

③住民基本台帳カードについては、市民の理解を得ながら啓発し、今後もその普及に努められたい。

④汚泥再生処理センターの建設に当たっては、地元住民に十分説明の上、連携協力を求めるなど、慎重に進められたい。

⑤公設ステーションの設置に当たっては、適正な分別がなされるよう適確な指導に努められたい。

⑥犬のふんの放置については、飼い主が責任を持ってふん回収を徹底するよう指導されたい。

⑦食育の指導については、学校給食も関連することから、教育委員会との連携も考慮されたい。
 ⑧生活保護の申請については、提出書類をなるべく簡略化し、また、生活保護世帯の現状の調査をするなど実態把握に努められたい。
 ⑨新規認可保育園の開園に当たっては、幼保一元化など、その仕組みについて関係保護者等に十分理解していただくよう取り組まれました。

⑩高齢者に係る様々な制度については、市民に対し、わかりやすい説明や啓発に努められたい。
 ⑪西方地区からは、市街地までのバス料金が高いことから、診療所の開所日数を減らすに当たっては、福祉バスの導入を検討されたい。

(二)平成十九年度薩摩川内市国民健康保険事業特別会計予算について

①生活習慣改善プログラム推進事業については、市民や国民健康保険の医療費抑制にもつながることから、今後も継続されたい。

(三)平成十九年度薩摩川内市介護保険事業特別会計予算については、

①療養病床再編問題については、市民の不安を払拭するため、介護施設等の待機者の解消に努められるよう、市として国・県に強く働きかけられたい。

②住民が生活する上で重要な生活道路等の新設改良は、地域住民の希望でもあるので、重点的に整備するため、予算の確保に努められたい。

③川内港の臨海道路のアスファルト舗装は単車や軽自動車等の通行時に危険な場合があるので、コンクリート舗装に切り替えられるよう県へ要望されたい。

④合併浄化槽から土地改良区が管理する農業用水路に流すための負担金の問題については、関係課で連絡を密にして十分な対応を図られたい。

建設水道委員会

委員長 小村 亮一

三月十四日・十五日開催

(一)薩摩川内市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について
 ①五代住宅の解体後については、二、三階建ての住宅を建設されたい。

(二)平成十九年度薩摩川内市一般会計予算のうち本委員会付託分について

①鹿児島県北部豪雨で被災した吉野山ポンプ場の河川護岸の復旧工事は、できるだけ早期に完成できるように県へ強く要請されたい。



吉野山ポンプ場

②住民が生活する上で重要な生活道路等の新設改良は、地域住民の希望でもあるので、重点的に整備するため、予算の確保に努められたい。

③川内港の臨海道路のアスファルト舗装は単車や軽自動車等の通行時に危険な場合があるので、コンクリート舗装に切り替えられるよう県へ要望されたい。

④合併浄化槽から土地改良区が管理する農業用水路に流すための負担金の問題については、関係課で連絡を密にして十分な対応を図られたい。

⑤市営住宅退去時の畳とふすまの取替えについては、定住促進の観点からも入居期間や使用状況等を勘案し、一定の基準を定めて運用されたい。

⑥市営住宅への火災警報器の設置については、率先して市が設置すべきものであるため、その方針を明確に示し、平成十九年度予算において補正予算を要求するなどし、年次的に全住宅へ設置されたい。

⑦鹿児島県北部豪雨災害での公共土木災害復旧工事については、国や県の査定等で時間を要したことは理解はできるが、できるだけ早急に復旧されたい。

⑧河川伐採業務委託については、建設業界とも協議し、年間を通じ区域を決めて地元業者に伐採してもらう制度を検討されたい。

⑨南九州西回り自動車道の薩摩川内都インターチェンジが開通し、